

### 第3節 東門ほかの出土遺物

#### 1、概要

東門の発掘調査ではわずかながら須恵器甕の小片が出土した。『総社市埋蔵文化財調査年報』6所収の「鬼城山第1城門跡の発掘調査」<sup>(1)</sup>では、細片を含めて図化しているが、実際は器壁の劣化によりすでに調整が不明なものがあるため、本稿では図に耐えられる遺物のみを掲載した。また時期の異なる遺物としては、吉備系土師器碗片がわずかに出土している。

他の遺物としては、第4水門から北西側に入り込んだ谷部から、フイゴ羽口片と鉄滓を表採し、その位置を第20図において図示した。平成11年度に古代吉備文化財センターが実施した城内の確認調査では、東門の後背部に位置する尾根の頂部より、鍛冶遺構を検出している。この尾根の頂部は長さ30m×幅7mを測る狭小にして平坦な地形となっており、鉄関連の遺物は西斜面の裾部より採取したことになる。

#### 2、出土遺物

(1)の須恵器甕はT9から出土した。外面を縦方向の平行タタキで成形(3本/cm)の後、カキ目調整を施し、内面は同心円状タタキである。胎土は細かく焼成不良で、色調は黄白色を呈する。

(2)の須恵器甕は門道の左側石垣を検出中、石垣の崩落土より出土したものである。外面は摩滅が著しくカキ目が見え、内面は同心円状タタキである。焼成は不良で色調は黄橙色を呈する。

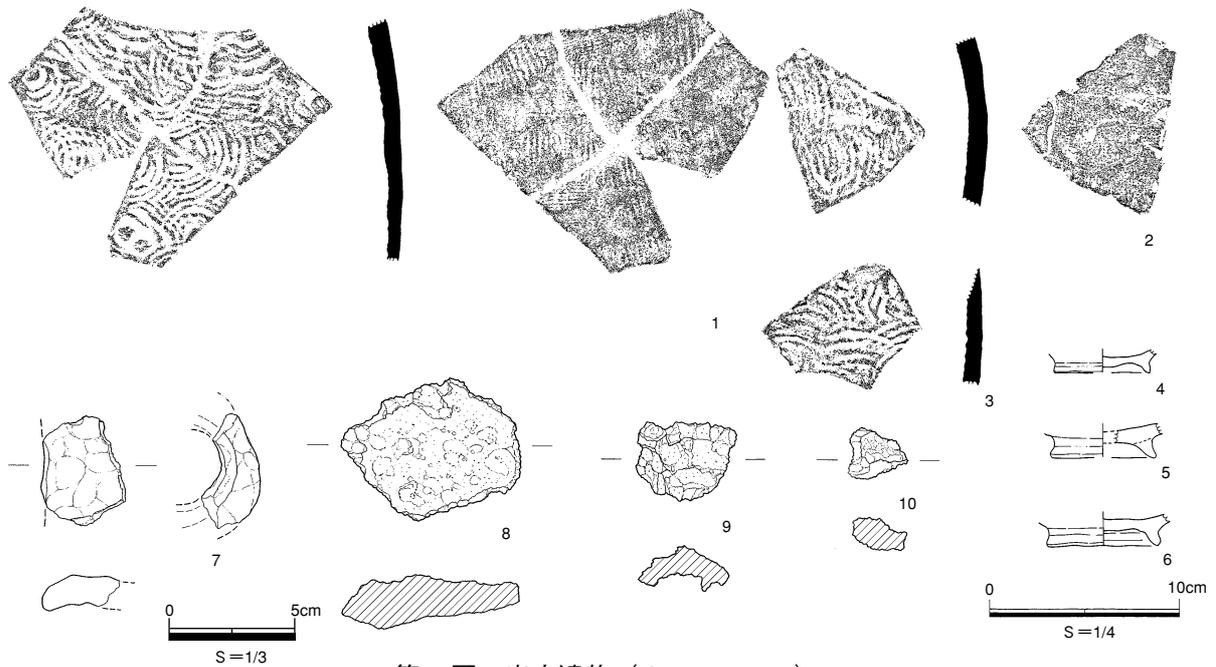
(3)の須恵器甕は東門周辺の城壁を清掃中に表採したものである。外面は摩滅し、内面に同心円状タタキが残る。胎土は2mm以下の砂粒を多く含み、焼成はやや不良で黄灰色を呈する。

これらの須恵器甕片は内外の成形痕や焼成があまり点がないが、これまで鬼ノ城で出土している甕と類似しており、時期は7世紀後半から8世紀初頭に比定できる。

(4～6)は吉備系土師器碗の底部で、いずれもハ字形石垣に挟まれた門道内の堆積土より出土した。高台径はそれぞれ(4)4.9cm、(5)5.4cm、(6)5.6cmを測り小形化傾向にある碗と考えられ、内面にヘラミガキは認められない。焼成はそれぞれ良好で黄褐色を基調とし、碗の形状は13世紀のなかでも後出する器形と考えられる。また、(4～6)は地山である露岩から47～70cm上の堆積土中より出土しており、この頃には城門の崩壊と共にかなり埋没していたことがわかる。

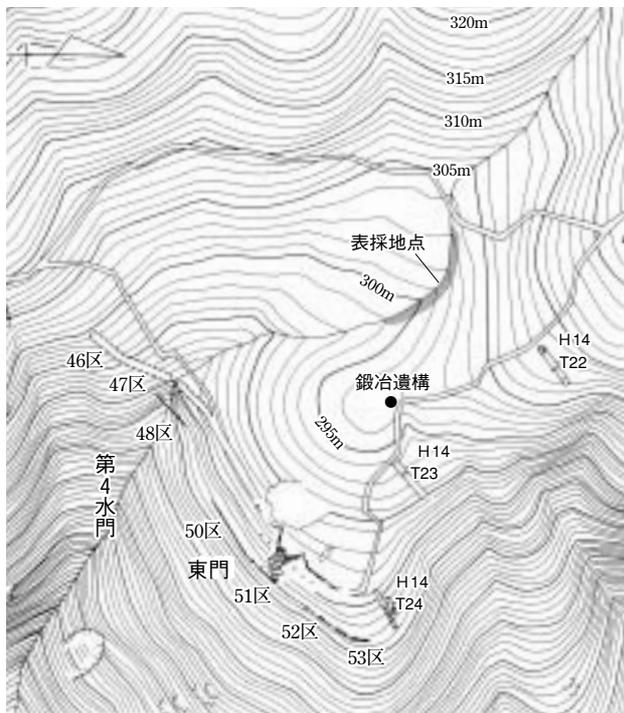
(7～10)は鍛冶関連の遺物である。(7)はフイゴ羽口で、残存は1/4以下の小片である。送風口は円形で、外面は黄褐色を呈し内面は熱影響のため赤色となり一部硬化していた。焼成は良好で、磁着は示さなかった。(8～10)は鉄滓で、(8)は図の上面にあぶく状の気泡が認められ起伏に富むのに対し、下面は逆U字形に歪みつつも比較的平滑である。重さは83gで磁着はない。(9)は上面が山形にふくらみ、下面は内湾して窪んでいる。重さは22.6gで磁着はない。また(10)の鉄滓も、重さ5.6gを測り磁着を示さなかった。

註1 「鬼城山第1城門跡の発掘調査」『総社市埋蔵文化財調査年報』6 総社市教育委員会 1996年 P74



第19図 出土遺物 (S=1/3、1/4)

表1 各トレンチほかの実測不能遺物



第20図 鉄関連遺物表採地点 (S=1/2000)

| 各トレンチほか           | 遺物      | 備考     |
|-------------------|---------|--------|
| 東門の外側列石の上端        | 須恵器甕片   | 2と同じか？ |
| 東門の外側列石より城外側      | 須恵器甕片   | 2と同じか？ |
| T 3 掘削中           | 土師器小片   |        |
| 東門の門礎から外側列石の間を清掃中 | 土師器小片   |        |
| T 8 の流土           | 土師器小片   |        |
| 第4水門付近表採          | 須恵器壺小片？ | 焼成良好   |
| 第75壘状区間尾部表採       | 須恵器壺小片？ | 焼成良好   |
| 右側のハ字形石垣付近門道内流土中  | 土師器小片？  | 焼成良好   |

第2図版



1. 第50壘状区間（南東から）



2. 第50～51壘状区間  
（南東から）



1. 第51畧状区間  
調査前の東門(南東から)



2. 第52畧状区間(南東から)

第4図版

1. 東門全景（北東から）



2. 東門門礎（北西から）



3. 東門門礎（南西から）





1. 東門 露岩と右側石垣（北から）



2. 左側石垣（西から）

第6図版

1. P1柱の根巻き状況  
(東から)



2. P1礎盤石検出状況  
(南東から)



3. P2断面(南東から)





1. P 3 (東から)



2. P 4 (南東から)



3. P 5 (南東から)



1. T7 (南から)



2. T6 (南から)



3. T5、外側列石と外側柱穴 (真上から)



4. T5、外側列石と外側柱穴 (南東から)



1. T6、石列検出状況  
(北西から)



2. T8、内側敷石検出状況  
(北東から)



3. 調査後、仮整備を実施した東門（東から）